

施策体系図

施策の大綱			
施策			
基本事業			
1	地域社会とともに進める安心と安らぎのまちづくり		頁
1-1	地域福祉・障がい者福祉の充実		
1-1-1	地域福祉推進体制の強化・福祉サービス支援の適正化	住民福祉部	福祉課
1-2	高齢者福祉の充実		
1-2-1	介護保険等地域支援事業の推進	住民福祉部	福祉課
1-2-2	高齢者の生きがいと健康づくり	住民福祉部	福祉課
1-3	児童福祉と次世代育成支援の充実		
1-3-1	地域における子育ての支援（子どもの健やかな成長）	子育て支援課	
1-4	保健・保険事業の推進		
1-4-1	計画的・効率的な介護保険事業の推進	住民福祉部	福祉課
1-4-2	健康保険事業の推進	住民福祉部	健康保険課
1-5	町民の健康づくりと地域医療の充実		
1-5-1	町民の健康づくり	住民福祉部	健康保険課
1-5-2	こども医療の充実	住民福祉部	健康保険課
2	力強く自立した農工商併進のまちづくり		頁
2-1	農業の振興		
2-1-1	農業生産基盤（農業用水路）の整備	経済部	農政課
2-1-2	農業生産基盤（土地改良事業）の整備	経済部	農政課
2-1-3	経営感覚に優れた農業経営の推進	経済部	農政課
2-1-4	地域に適した農畜産物の生産と流通対策の推進	経済部	農政課
2-1-5	地域と環境に配慮した農業の推進	経済部	農政課
2-1-6	農地の保全と有効活用の推進	農業委員会	
2-2	林業の振興		
2-2-1	林業基盤の整備	経済部	農政課
2-2-2	森林が持つ多様な環境の保全と活用	経済部	農政課
2-3	商業の振興		
2-3-1	商業環境基盤の整備と活性化の支援	経済部	商業観光課
2-4	工業の振興		
2-4-1	工業の振興	経済部	企業誘致課
2-4-2	工業用水道の安定供給と公営企業の運営	工業用水道課	1
2-5	観光の振興		
2-5-1	観光施設の整備	経済部	商業観光課
2-5-2	観光資源の開発とイベント振興	経済部	商業観光課
3	未来を拓くふるさとづくり		
3-1	みんなの夢が叶う教育の実現		
3-1-1	教育委員会活動の公表と政策評価	教育部	学校教育課
3-1-2	家庭・地域・学校の連携強化	教育部	学校教育課
3-1-3	幼・保、小、中、高の連携強化	教育部	学校教育課
3-2	就学前教育の振興		
3-2-1	幼児期における教育の充実	教育部	学校教育課
3-3	学校教育の振興		
3-3-1	確かな学力の育成	教育部	学校教育課
3-3-2	豊かな心をはぐくむ教育の充実	教育部	学校教育課
3-3-3	体育・健康教育の推進	教育部	学校教育課
3-3-4	良好な教育環境の整備	教育部	学校教育課
3-4	生涯学習の振興		
3-4-1	生涯学習の充実	教育部	生涯学習課
3-4-2	公民館活動の推進	教育部	公民館
3-4-3	図書館の有効活用と充実	教育部	図書館
3-5	文化の振興		
3-5-1	文化活動の活性化と文化財・伝統文化の保全と活動	教育部	生涯学習課
3-6	スポーツレクリエーションの振興		
3-6-1	生活スポーツ「健康と楽しみのスポーツ」の推進	教育部	生涯学習課
3-6-2	競技スポーツ「夢と感動のスポーツ」の推進	教育部	生涯学習課
3-6-3	スポーツ基盤の整備	教育部	生涯学習課

3-7 人権を尊重する地域社会の実現			
3-7-1 地域社会における人権教育啓発の推進	総務部	人権推進課	
3-7-2 福祉と人権のまちづくり推進	総務部	人権推進課	
3-8 男女共同参画社会の実現			
3-8-1 男女共同参画の促進	総務部	人権推進課	
3-9 国際交流事業の推進			
3-9-1 国際交流の推進	総務部	総合政策課	

4 魅力的で快適な生活環境づくり			
4-1 土地利用と都市計画の推進			
4-1-1 秩序ある計画的土地利用の推進	土木部	都市計画課	4
4-2 地球環境との共生			
4-2-1 自然環境の保全と活用	住民福祉部	環境保全課	
4-2-2 水資源の保全と活用	住民福祉部	環境保全課	
4-2-3 資源循環型社会の形成	住民福祉部	環境保全課	
4-2-4 公害の防止と地球環境保全の促進	住民福祉部	環境保全課	
4-3 道路網の整備			
4-3-1 生活道路の整備・改善	土木部	建設課	7
4-3-2 幹線道路網の整備	土木部	建設課	10
4-3-3 農林道の整備	土木部	建設課	13
4-3-4 都市計画道路の整備	土木部	都市計画課	16
4-4 公共交通の維持			
4-4-1 駅周辺の交通システムの整備	土木部	都市計画課	19
4-5 公園・緑地の整備			
4-5-1 安全・安心な公園の整備	土木部	都市計画課	22
4-6 住宅の整備			
4-6-1 公営住宅の整備	土木部	都市計画課	25
4-6-2 公営住宅の管理	住民福祉部	住民課	
4-7 上下水道の整備			
4-7-1 上水道の整備	住民福祉部	環境保全課	
4-7-2 下水道の整備	土木部	下水道課	28
4-8 消防・防災の充実			
4-8-1 消防・防災の推進	総務部	総務課	
4-9 地域安全の充実			
4-9-1 地域防犯体制の強化	総務部	総務課	
4-9-2 交通安全施設整備の推進	総務部	総務課	
4-9-3 交通安全教育・意識啓発の推進	総務部	総務課	
4-9-4 消費生活の安全強化	総務部	総務課	

5 改革と分権の時代の新たな行財政運営			
5-1 行政運営の充実・強化			
5-1-1 行財政改革の推進	総務部	総合政策課	
5-1-2 行政の効率化	総務部	総務課	
5-1-3 電子自治体の推進	総務部	総合政策課	
5-1-4 職員の意識改革、定員管理	総務部	総務課	
5-1-5 公正な入札契約事務	総務部	総務課	
5-1-6 住民サービスの改善・向上	住民福祉部	住民課	
5-1-7 広域行政の推進	総務部	総務課	
5-2 財政運営の充実・強化			
5-2-1 健全財政の運営	総務部	総合政策課	
5-2-2 公有財産の適正管理	総務部	総務課	
5-2-3 信頼される税務行政の運営及び自主財源の確保	総務部	税務課	
5-3 情報の共有化による協働のまちづくり			
5-3-1 協働によるまちづくりと行政運営	総務部	総合政策課	
5-3-2 情報公開と情報発信の強化	総務部	総務課	
5-3-3 議会情報の発信強化	議会事務局		
5-4 地域コミュニティづくり			
5-4-1 地域コミュニティの活性化	総務部	総合政策課	

平成26年度 基本事業評価調書

基本事業名	2 - 4 - 2	工業用水道の安定供給と公営企業の運営		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	工業用水道課
施 策	2 - 4	工業の振興	担当者	谷口 隆二

基本事業を取り巻く現況と課題				
現在、3ヶ所の水源地をもって日量4,000トンの給水体制で、9事業所に日量3,560トンの契約に基づき給水を行っています。景気悪化により工業用水の使用量が減少すると、工業用水道事業の歳入減につながり、赤字になれば大津町の一般会計からの繰り入れが必要になってきますので、今後も企業動向を注視し、安定供給を続けていく必要があります。				

基本事業の目標				
使用水量が増加し、安定供給を継続すること				

構成事務事業				
事務事業名	・工業用水道事業の安定供給と水資源の確保			

25年度決算額		26年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
51,268 千円	0 千円	86,479 千円	0 千円	0 千円	86,479 千円	0 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	工業用水道の日給水量	目標値	単位:トン				3,500	平成25年度末時点での契約は、目標値を達成しているが、契約の7割以上を1社が占めているため、今後も企業動向を注視していく。
		実績値	3,000	3,140	3,550	3,760	3,560	
		達成度	100.0%	89.7%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）		達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』		『今後の課題と取り組み方針』					
リーマンショック以降の企業業績の悪化に伴い、平成20年度、21年度と年間給水量が大幅に減少していたが、本年度決算は過去最高だった平成19年度並の営業収益まで回復している。現在、4,000m ³ /日の給水能力であるが、契約水量の7割以上が1社によるものであり、新たな投資には慎重を期す必要がある。		安定供給のためには、施設の増設も重要であるが、7割以上を1社が使用しているため、万が一撤退等をした場合には即過剰投資となり、赤字になることが予想される。緊急時における受水協定を大津菊陽水道企業団と締結しており、工業用水道が安定供給できるよう体制を整えている。平成2年から給水を行っている各種設備については、経年による劣化が進んでおり、メンテナンス計画を策定し適宜機器の更新を実施していく必要がある。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
外部評価（評価委員会の意見）		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見							
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている						
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他						

平成26年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H26年度 予算
2-4-2	大津町工業用水道事業	工業用水道課	工業用水の供給契約を締結している熊本中核工業団地内の企業(9社)に対して、工場等で使用する工業用水を供給している。	86,479

平成26年度 基本事業評価調査

基本事業名	4 - 1 - 1	秩序ある計画的土地利用の推進		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施策	4 - 1	土地利用と都市計画の推進	担当者	中原 均

当町は都市化・工業化は用途地域内で発展していますが、近年農地等から宅地への転用が多く、工業地域や農業施設に隣接して宅地開発が行われるなど、インフラ整備が遅れている地域への宅地化が進んでいます。そのため、騒音、臭いなどの苦情や下水道、道路改良などの整備が急務となっています。こうした状況に対応するため土地利用規制のあり方について他法令による規制を参考にしながら取り組むとともに計画的な都市づくりを推進する必要があります。

昭和50年に町全域が都市計画区域に指定され、平成21年度に用途の見直しを行い902haの用途地域の決定がなされていますが、用途地域に含まれない地域や、農用地区域からも外れる規制のゆるい区域への宅地開発等が進んでいます。

基本事業の目標

計画的な土地利用により、当町の特性にふさわしい発展が図られている。

構成事務事業

事務事業名	- 開発指導要綱に基づく指導業務 - 都市計画基礎調査策定業務			
-------	--	--	--	--

25年度決算額		26年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	開発指導要綱に基づく指導の割合	目標値	単位:%				100	開発指導要綱に沿って行われている。26年度は週1回程度の割合で申請があっている。
		実績値	95	96	100	100		
		達成度	100%	96.0%	100.0%	100.0%		
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 概ね開発指導要綱に沿って開発が行われている。	『今後の課題と取り組み方針』 建築自体は問題なくとも、工事時において近隣住民からの苦情（騒音、振動等）がでる。説明もされていない所もあり、問題が発生する事を想定したきめ細やかな指導が不可欠となっている。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
平成21年に現在の用途地域に見直され、県の開発行為や町の開発指導要綱により開発が行われている。しかし近年準工業地帯に宅地分譲の開発計画が進んでいる箇所がある。用途見直しの検討が必要である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見【都市計画課】
・アパートの建設について近隣住民とのトラブルが発生しているとコメントがあるが、色々な事業に協力している住民と公平に差があってはならない。建築確認申請時でも付加して近隣住民とのトラブルが発生しないような指導を要望する。 ・都市計画道路の整備ならび公営住宅の整備が順調にすすんでいることを評価したい。住民の生活充実に今後共、努力してほしい。 ・駅南口はビジターセンター等整備されたが、建物の整備のみで路線バスの乗り入れもなく飲食や市内へのバスとなると、北口まで足を運ぶのが現状である。北口の開発は終了ではなく、もっと考えてもらいたい。 ・今後は駅前楽善線と、大津バイパスをつなぐ道路を進めてほしい。 ・ビジターセンターを、地元の物産の展示販売機能を備えるべき。駅南北の交通の流れを作るよう努力が必要。

平成26年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H26年度 予算
4-1-1	社会資本整備総合交付金事業評価等調査	都市計画課	従来のまちづくり交付金事業から継続して新たに平成24年度から平成28年度までの5ヵ年間の「都市再生整備計画」を策定し地域経済・社会の活性化を図る事を目的とした「社会資本整備総合交付金」事業を実施する。その計画に基づき事業終了に実施する「事後評価」の公表を行い成果の評価を検証する。	223,675

平成26年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 1	生活道路の整備・改善		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	道路整備課
施策	4 - 3	道路網の整備	担当者	野田 静一

基本事業を取り巻く現況と課題

昭和の町村合併から50数年となり、現在、町道認定をした路線数は400を超え、総延長270,000m、その中に構築されている橋梁が151橋、路面舗装もコンクリート及びアスファルトで進め管理延長の約90%の舗装が完了しています。しかし、今後も新設道路と既存道路の拡幅改良など整備要望があるなかで、老朽化する橋梁と舗装の補修が増加しています。

また、道路沿線の除草、街路樹の管理について大部分を地域の区役に依存しているが、地域の状況により除草管理が行われない道路区間が増加する傾向にあります。

道路を造ることを重点に進めてきた方向から、維持補修等の管理を重点にする転換期だと思われますが、国の補助（交付金）事業は維持管理に対する助成が少なく、一般財源だけでは老朽化した舗装の補修を計画的に進めることが出来ません。そのため、路面に亀裂、舗装の剥れが発生する路線が増加しており、白線等の路面表示も消えて通行の安全性確保が出来ていません。

基本事業の目標

道路整備と道路維持を両立させながら、歩行者と車両が安全に通行できる道づくりができています。

構成事務事業

事務事業名	・社会資本整備事業に基づく道路新設事業 ・道路改良事業 ・道路補修事業 ・橋梁長寿命化事業 ・交通安全施設整備事業
-------	---

25年度決算額		26年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
295,314 千円	152,821 千円	525,884 千円	91,464 千円	126,701 千円	75,221 千円	232,498 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
		目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
成果指標①	道路の新設・改良の整備率	目標値	単位:%				70	用地買収の際の条件等により整備が遅れて事業区間が長くなる。
		実績値	50	55	58	60		
		達成度	81.4	78.6%	81.4%	82.9%	85.7%	
成果指標②	老朽化した舗装の補修整備率	目標値	単位:%				50	舗装の補修は町道だけでも475路線、270kmあり、整備が追いつかない。
		実績値	30	30	37	40		
		達成度	70	60.0%	70.0%	74.0%	80.0%	
成果指標③	橋梁の長寿命化対策の実施率	目標値	単位:基				132	平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定した。
		実績値	0	0	132			
		達成度	0	0.0%	100.0%			
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 道路の維持補修、改良については住民の要望も多く、その優先順位の決定方法や計画的な予算の確保を要する。	『今後の課題と取り組み方針』 ・老朽化した舗装の補修整備について、応急的なものは職員で対処できるが、要望も増え、大掛かりな補修も予想されるため予算を確保したい。 ・今年度に通学路交通安全プログラムを策定し関係機関との調整を進めたい。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
○400を超える路線数の町道を抱え、また権限移譲により多くの里道の管理も必要になっており、街路樹の管理や除草等の維持管理の費用も年々増加している。このような中、構築されていた道路が耐用年数を迎えて、今後は橋梁の改築、舗装の補修などの事業費の大幅な増加が予想される。 ○道路の拡幅・改良整備は引き続き要望があると考えているが、維持管理費用が増加している中では、道路事業費の総額の増は難しいと思われるので、通学路の安全性や危険箇所など緊急性を判断して事業を実施することが必要である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見【建設課】
・道路沿線の除草、街路樹の管理等は地域の区役に依存している。市街地のところでは、区役するにも、作業するための機械器具がない。その様な道具を必要とされている地区には何か助成や補助などがあるのか。 ・限られた予算の中で町内にあるすべての道路を管理し、住民の要望に対応していくのは大変である。その中で必要度の高いものから事業を進める事が大切。現場に行って住民の意見を聞いてその対策を考え実施する。時間がかかりそうな時は、その経過も住民に説明する必要がある。 ・通学路に歩道を整備し、子どもたちの安全を確保してもらいたい。特に、大津中・農協からR57号の間は深刻。（県・国ともっと調整を）

平成26年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H26年度 予算
4-3-1	町道管理事業	建設課	生活道路・通学路として安全に通行できる状態を維持する。	126,801
4-3-1	町道西前原線道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く、拡幅改良を行うことにより、通行の安全性を確保し、利便性の向上を図るもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	30,589
4-3-1	町道岩坂南2号線道路改良事業	建設課	本路線は岩坂地区の南側を新設する道路で、県道岩坂陣内線と町道切畑線坂線を連絡する道路で、現在の県道が狭く渋滞解消と通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。また、町道岩坂南線への接続をすることにより隣町へのアクセス条件の向上を図る。	72,860
4-3-1	一般公共(町道改良事業:部分改良)	建設課	町道等に関する要望調査や評価調書に基づき、離合箇所設置や交差点の改良を行い、生活路線の安全確保を図る。	25,651
4-3-1	河川改修事業	建設課	河川(平川、矢護川、桜川)の護岸整備、河川整備を行い、増水時に対応する。道路や農地を守り住民の安心を図る。	62,000
4-3-1	町道大林57号線道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く、事業により拡幅改良を行うことにより通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	9,340
4-3-1	町道杉水水迫線道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く、拡幅改良を行うことにより、通行の安全性を確保し利便性の向上を図るもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	45,150
4-3-1	町道瀬田駅吹田線道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く、拡幅改良を行うことにより通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	3,800
4-3-1	道路台帳整備	建設課	町道に関する調書・図面を作成する。道路法第28条によって作成が義務づけられている。道路行政にとって最も基本的な資料である。	3,018
4-3-1	町道杉水大津線他道路改良事業	建設課	既設の側溝が老朽化しているため、側溝の改修を行い生活環境の向上を図る。	53,900
4-3-1	町道美咲野大津線道路改良事業(鶴口橋)	建設課	本路線は町中心部と北部を結ぶ幹線道路であるが、橋梁と道路の形状から車両の通行に危険な区間である。橋梁も老朽化しているため、架け替えと視距を確保するための改良を行い、通行の安全性を確保する。	27,959
4-3-1	町道湯舟御願所線	建設課	本路線は幅員が狭く離合も困難である。一部拡幅することにより、通行の安全性を確保する。	30,000
4-3-1	公共土木施設災害復旧費	建設課	公共土木施設の災害復旧事業	3,866
4-3-1	公民館分館北側道路	建設課	本路線沿線には、近年宅地化が進んでいる。かなり幅員がせまく通行に支障があるため、道路拡幅や排水対策を行う。	5,000
4-3-1	町道大松山後迫線道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く離合も困難である。一部拡幅することにより、通行の安全性を確保する。	3,000
4-3-1	町道七曲線道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く離合が困難である、また県道からの進入もスムーズにできないため、幅員を拡幅して通行の安全を図る。	17,150
4-3-1	新小屋地区開拓道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く危険である、部分的に道路拡幅することにより住民の安全性、利便性を確保する。	3,000

平成26年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 2	幹線道路網の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	建設課
施策	4 - 3	道路網の整備	担当者	藤原 司朗

基本事業を取り巻く現況と課題

当町の地理条件として、熊本～阿蘇を結ぶ東西道路の整備が進み南北道路の整備が遅れていましたが、近年は、県道矢護川大津線、山西大津線、熊本大津線等の改良が進み南北の道路整備も進んで来ている状況です。しかし、集落内を通る部分については移転補償費等による事業費が高くなることと、用地の解決に時間がかかりすぎる等の問題からバイパス案の検討がなされています。

国道57号の四車線化は、瀬田拡幅区間の用地交渉及び工事を施工し、平成26年度末には一部供用開始の予定であります。また国道443号の空港アクセス道拡幅については、平成28年度に事業着手の予定です。

整備主体が、国・県となるため事業要望を重点的に行う必要があります。また、計画を推進するためには地域の理解と協力が欠かせない状況です。

基本事業の目標

町村間、幹線道路間の道路を整備し、道路網の形成を進めることにより交通渋滞を緩和し、産業の振興等地域の活性化を図る。

構成事務事業

事務事業名	・国道57号四車線化事業 ・県道バイパス計画事業 ・県道部分改良事業 ・中九州・地域高規格道路事業			
-------	--	--	--	--

25年度決算額		26年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
16,685 千円	435 千円	3,471 千円	千円	2,600 千円	千円	871 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	国道57号四車線化の整備延長	目標値	単位:km				9.1	平成26年度は、立野拡幅4工区と瀬田拡幅1工区について供用開始予定である。しかし、瀬田拡幅2工区と3工区については、用地買収が難航している。
		実績値	5.4	5.4	5.4	6.1		
		達成度	59.3%	59.3%	59.3%	67.0%		
成果指標②	県道改良、拡幅事業及び砂防事業の着手力所数	目標値	単位:力所				12	県道改良・拡幅について早期完了を目指している。また砂防事業として平川、矢護川の整備を行っている。
		実績値	4	4	7	9		
		達成度	33.3%	33.3%	58.3%	75.0%		
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 国道57号四車線化の整備は、平成26年度に瀬田拡幅1工区（阿蘇大津ゴルフ場付近）までの区間が供用開始予定であり、現在着々と工事が進んでいる。しかし瀬田拡幅2工区、3工区においては用地買収が難航している。県道改良、拡幅事業及び砂防事業においては、単県要望等に計上している事業について一部着工している。	『今後の課題と取り組み方針』 国道57号は、大津町中部を横断する幹線道路であり、住民にとって生活に密着した重要な路線である。そのため瀬田拡幅区間の難航している用地買収を国や県と協力し、早期に四車線化の実現を目指す。県道改良や拡幅工事についても、地元からの要望等を整理し、早期に着手して頂くよう県へ要望していく。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
国や県と情報を共有し問題点等がある場合、早めに協議を実施し、早期に完成させるように努めることが必要です。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成26年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H26年度 予算
4-3-2	県道負担金	建設課	県が管理する県道等の維持補修・改良について 県に要望を行い、維持補修・改良に要した費用の10～15%を地元町が受益者負担として支出する。	2,800
4-3-2	各種期成会	建設課	大津都市圏では、都市圏内外の交通の円滑化を図るとともに、都市の骨組みを形成するための道路整備等を行っています。 事業主体が国・県となるため、各期成会を組織し要望活動を行っています。 この内、国道57号整備促進期成会の事務局を大津町で行っています。	671

平成26年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 3	農林道の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	道路整備課
施策	4 - 3	道路網の整備	担当者	野田 静一

基本事業を取り巻く現況と課題				
広域的幹線農免農道の整備はほぼ完了したが、支線の農道や耕作道については、未整備箇所が多くあります。大型化する農業機械の走行上の安全性確保や、農作業の安全性・効率性を確保するため、農道の拡幅や舗装整備が必要です。				

基本事業の目標				
農林道が整備され、農作業が効率よくできる。				

構成事務事業				
事務事業名	・土地改良事業での舗装整備（町の7割補助制度）			

25年度決算額		26年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
10,100 千円	10,100 千円	13,062 千円	千円	千円	千円	13,062 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	農道舗装（土地改良事業）の実施地区数	目標値	単位:カ所				25	「農地・水保全管理支払交付金事業」により農道舗装が出来るようになったため、土地改良事業の実施区域は減少傾向にあります。
		実績値	19	21	4	2	4	
		達成度	76%	84.0%	16.0%	8.0%	16.0%	
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 「農地・水保全管理支払交付金事業」により農道舗装が出来るようになったため、土地改良事業の実施地区は減少したが、農道舗装についてはこの事業により計画的に実施されるようになった。	『今後の課題と取り組み方針』 「農地・水保全管理支払交付金事業」を実施していない地区に対して、土地改良事業により農道舗装を実施している地区の事例紹介などが必要である。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
農林道の整備は、作業の効率化には有効であり、農林業経営の安定化にもつながるものである。また、農林道は地域の生活道路として利活用されており、地域貢献度の高い事業である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成26年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H26年度 予算
4-3-3	農道管理事業	建設課	農道・調整池の維持補修	2,389
4-3-3	緑資源幹線(大規模) 林道事業	建設課	緑資源幹線林道事業により、未改良区間900mを除いて18年度に事業が完了し町に移管されたが、先行投資方式による負担金償還が受益者分5%発生し、本来林業関係の受益者負担と大津町の負担となる。この林道が当該地域における林業以外の産業の振興も目的とし、地域住民の生活道路としての機能も高いことから、町が受益者として償還する事業である。	6,264
4-3-3	土地改良事業補助金	建設課	大津町土地改良事業補助金交付規則により、土地改良区、行政区が実施する土地改良事業について、①国県補助事業は地元負担の70%補助、②地域が主体となる事業の場合は、事業費の70%を補助する。③土地改良区管内(大菊土地改良区が実施)の基幹施設事業の場合は、協定書に基づく割合による補助により農業の生産基盤としての環境条件を整備する事業。	2,800
4-3-3	林道管理事業	建設課	幹線林道等が安全に通行できる状態を維持する。	1,609

平成26年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 4	都市計画道路の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施策	4 - 3	道路網の整備	担当者	中原 均

本町の都市計画道路は、7路線中6路線については改良済みですが、本町の地形が東西方向に谷の多い凸凹な地形であるため、南北を結ぶ道路が少ない。工業団地などへの通勤路線と住民の生活路線が交錯していることによる慢性的な交通渋滞の発生などの問題が生じています。そのため、県主体の西鶴中井迫線は平成23年度に開通しましたが、平成19年度着工の駅前楽善線については早期開通が必要です。 都市計画道路の7路線の整備状況は、市街地の外周道路である国道の2路線と三吉原北出口線及び土地区画整理事業で整備された駅南1号線、駅南2号線、南北に通る西鶴中井迫線等については整備済みですが、駅前楽善線の道路整備が遅れています。				
---	--	--	--	--

基本事業の目標				
都市計画道路は都市の骨格を形成し、渋滞の緩和、歩道整備、交差点改良による安全で快適に利用できる道路整備により、町民生活の向上や産業振興、中心市街地活性化が図られている。				

構成事務事業						
事務事業名	・都市計画道路駅前楽善線改良事業 ・町道門出2号線道路整備事業					
25年度決算額		26年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
517,928 千円	5,888 千円	291,060 千円	26,904 千円	260,200 千円	千円	3,956 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	都市計画道路駅前楽善線の事業進捗率	目標値	単位:%				100	
		実績値	20	50	70	90	100	工区ごとの工事も順調に進み、26年度末をもって完成予定。
		達成度		50.0%	70.0%	90.0%	100.0%	
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 駅前楽善線の改良により都市計画道路7路線全てが開通となる。終点交差点部分の雨水氾濫や朝夕の交通渋滞などが緩和される事が予想される。	『今後の課題と取り組み方針』 工事は順調に進み、26年度末完成を目指す。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
平成23年度に西鶴中井迫線の開通と今回の駅前楽善線の完成により、本田技研工業、中核工業団地、美咲野団地等の乗用車の流れがスムーズになり、かなり渋滞緩和に貢献されると思われる。また、課題であった三吉原北出口線との交差点の雨水氾濫の解消にもつながる。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成26年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H26年度 予算
4-3-4	都市計画道路駅前楽 善線改良事業	都市計画課	町の中心市街地を南北に結ぶ基幹的道路である駅前楽善線の整備を行う。	166,670
4-3-4	門出2号線道路整備事 業	都市計画課	駅周辺整備計画の一環で、駅東側の道路整備として門出2号線の整備を行う。	20,100

平成26年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 4 - 1	駅周辺の交通システムの整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施策	4 - 4	公共交通の維持	担当者	中原 均

基本事業を取り巻く現況と課題				
九州新幹線の全線開業や阿蘇くまもと空港へのシャトルバス運行開始などにより、J R肥後大津駅の公共交通拠点としての役割がますます高まることが予想されます。 平成23年に駅南口を開設し、町の玄関口である肥後大津駅周辺の利便性の向上、特に南側からのアクセス、路線バスロータリーによる交通機関の推進は急務であるとした。				

基本事業の目標				
平成23年に駅南口機能を持つビジターセンター、バスロータリーを整備し公共交通機関の連携を推進し、利便性の向上が図られた。今後駅の北側について、タクシー乗降場、駐輪場の整備を図り、駅利用者と地域との交流拡大を通じて町の活性化を図る。				

構成事務事業				
事務事業名	・駅前広場整備事業 ・南口駅（ビジターセンター）建設事業 ・駅北口整備事業			

25年度決算額		26年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
172,742 千円	185 千円	0 千円	千円	千円	千円	千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	肥後大津駅の1日あたり利用者数	目標値 単位:人					5,000	
		実績値	3,800	3,861	3,900	4,500	4,700	ビジターセンター、空港ライナーとも定着して実績が残せるようになった。
		達成度		77.2%	78.0%	90.0%	94.0%	
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 ビジターセンターや空港ライナー利用者も増加傾向にあり、一定の成果は出ていると感じている。	『今後の課題と取り組み方針』 南口整備により駅利用者の増加はあるものの、利用者に対しての観光PRがいまだ不足している感があり、大津町の玄関口としては寂しいものがある。関係課、関係団体との協議を進め町外の方に大津町の良さを実感してもらうよう実現していく。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
駅南口はある程度整備され、駅利用者も増となり一定の成果は出せた。現在、駅北口整備工事が行われ駐輪場の整備も行われる。建物関係は整備を終えるので、今後はそれを生かした観光PRが必要となってくる。南口からの門出2号線改良で駅周辺整備計画を終えるが、次はにぎわいのあるまちづくりを目指すにはどうしたら良いかななどを協議し、実現化する事が必要である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成26年度 事務事業一覧

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容
4-4-1	肥後大津駅北口駐輪 場	都市計画課	JR肥後大津駅北口における既存の駐輪場の整備

平成26年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 5 - 1	安全・安心な公園の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施策	4 - 5	公園・緑地の整備	担当者	中原 均

基本事業を取り巻く現況と課題
本町の公園は、親子連れの遊びの場、青少年の憩いの場、散歩コース、グラウンドゴルフ、スポーツ、ボランティアの場等、身近な公園として広く利用されています。 しかし、設置後15年以上経過した公園も多く、遊具や照明設備を始めとした公園施設の老朽化が進んでいるため、地域住民の安全で快適な公園利用に支障が出始めています。公園施設の健全度調査の実施と調査結果に基づく修繕・改築とともに、「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に沿ったトイレ・通路等のバリアフリー化が必要です。 また、クスノキ・ケヤキ・イチョウ・サクラ等の大木化・老木化が進んでおり、低層のツツジや芝生に日照不足による障害が出ているため、利用者がツツジの花を楽しんだり、芝生でくつろいだりできなくなる可能性があるため、枝打等を実施しているが、今後も大量の落ち葉や倒木対策にも予算が必要になり、住民の公園への経費負担が増加する恐れがあります。

基本事業の目標
安全・安心な公園を憩いの場・交流の場として快適に利用できる。

構成事務事業
事務事業名 ・町立公園等管理委託事業

25年度決算額		26年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
49,267 千円	49,243 千円	54,561 千円	千円	千円	24 千円	54,537 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	公園が安全と思う人の割合	目標値	単位:%				100	隔年で遊具の修繕による事故防止、パトロールによる危険箇所調査等により、実績値を安定させたい。
		実績値	—	46.6	62.7	53.4	51.6	
		達成度		46.6%	62.7%	53.4%	51.6%	
成果指標②	公園を交流の場と思う人の割合	目標値	単位:%				70	24年度に中央公園建設により、一旦達成度が上がったが、近年は若干の落ち込みがある。利用者が使いやすいと思える公園づくりが必要。
		実績値	—	27.8	42.1	38.2	33.2	
		達成度		39.7%	60.1%	54.6%	47.4%	
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 安全達成度と交流達成度が大体同じ割合を示している。中央公園建設が大きく関係していると思われるが、他の都市公園、町立公園同様、利用者が安全、安心して使用できる公園でないと達成度が上がらない。	『今後の課題と取り組み方針』 都市公園において長寿命化計画を立て効率的に維持管理をしていく。その他の町立公園も遊具等の必要性や管理面も地元と協議しながら進めて行く。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
町立公園は新しく建てた物もあるが、老朽化により本来の機能を果たしていない箇所が出始めた。高額な修繕費用もかかることから、長寿命化計画等により安全性、必要性等を十分に協議し、住民にとって憩いの場となるよう努めていかなければならない。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成26年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H26年度 予算
4-5-1	上井手公園	都市計画課	上井手沿いに公園を整備する。整備内容:トイレ・ベンチ・水飲み場・東屋等	82,640
4-5-1	町立公園等管理委託事業	都市計画課	利用者が気持ちよく公園を利用できるよう、町立公園などの除草、植栽の剪定や清掃を行なう事業。管理委託及び整備事業と合体	62,072

平成26年度 基本事業評価調査

基本事業名	4 - 6 - 1	公営住宅の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施策	4 - 6	住宅の整備	担当者	芳崎優次

基本事業を取り巻く現況と課題				
住宅に困窮している低額所得者世帯に対して、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備して低廉な家賃で賃貸するための住宅を整備します。 これからの公営住宅として、既存住宅を少子高齢化社会の到来に向けたユニバーサルデザインへの改善、耐震対策、住宅環境の向上など住宅の長寿命化による整備が求められています。また、今後の社会資本整備総合交付金事業として、公営住宅の公営住宅等長寿命化計画を作成して、当該計画により公営住宅の用途廃止、住宅改善、住宅建替えに分類することで、それぞれの団地を地域にあった住宅に住民の意見を聞きながら改修します。 現在、あけぼの団地においては屋根外壁などの改修を計画しています。室内においてもバリアフリーなど住宅環境の整備が必要であるが、入居者の意見を求め計画に盛り込む。 また、屋外の整備として、団地の駐車場整備および団地内通路の段差改修を施工しています。通路と駐車場を分離することで交通事故防止対策になります。最近の入居者の要望が多くなり早急な事業の完了が求められています。西嶽団地、北出口団地の側溝通路改修、駐車場整備も必要となっており、今後、入居者の意見も取り入れて改修する計画です。				

基本事業の目標				
既存公営住宅の長寿命化計画により住宅環境を整備し、入居者が健康で文化的な生活を営むことができる公営住宅の整備を目標にします。				

構成事務事業				
事務事業名	・公営住宅維持修繕 ・公営住宅等長寿命化計画 ・社会資本整備総合交付金事業			

25年度決算額		26年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
67,336 千円	4,898 千円	48,700 千円	22,693 千円	20,000 千円	6,007 千円	千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等			現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	立石団地の改善戸数	目標値	単位:戸					88	
成果指標②		実績値	88	50	38				
成果指標③		達成度	100%	56.8%	100%				
成果指標④	あけぼの団地の改善戸数 (設計業務)	目標値	単位:戸					412	平成26年度より事業開始 入居者のアンケートを求め、改修内容を検討する。住戸改修について同意書を求める。 100%同意が5棟あった。他
成果指標⑤		実績値	0	0	0	0	60	60	
成果指標⑥		達成度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.6%	0.0%	
成果指標⑦	あけぼの団地の改善戸数 (改修工事)	目標値	単位:戸					412	平成27年度より事業開始
成果指標⑧		実績値	0	0	0	0	0	60	
成果指標⑨		達成度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
成果指標⑩	あけぼの団地駐車場の整備棟数	目標値	単位:棟					15	平成26年度完了予定 計画通り施工中である
成果指標⑪		実績値	11	2	1	5	4		
成果指標⑫		達成度	73.3%	53.3%	66.7%	73.3%	100.0%		
成果指標⑬	あけぼの団地避難はしご改修棟数	目標値	単位:棟					0	平成25年度完了
成果指標⑭		実績値	15	4	7	4	0		
成果指標⑮		達成度	100%	26.7%	73.3%	100%			
成果指標⑯	西嶽団地・北出口団地通路側溝改修	目標値							平成26年度完了予定 計画通り施工中である
成果指標⑰		実績値					2		
成果指標⑱		達成度					100.0%		

担当課評価（達成度の確認と分析）		達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
『目標達成状況に対する総合的所見』		『今後の課題と取り組み方針』					
あけぼの団地駐車場整備について平成26年度で完了である。両者の評価もよく早急な完成が望まれている。 西嶽団地・北出口団地通路側溝改修について、入居者からの要望が大きいため、平成26年度で工事完了した。入居者の評価も良かった。 あけぼの団地改修について入居者説明会を開催したところ、改修の要望が大きく、改修の同意書を求めたところ5棟について100%の同意が得られ残り10棟についてもほとんど同意が得られている。早急な改修が必要である。		あけぼの団地駐車場整備事業は平成26年度で完了させる。 西縦団地・北出口団地通路側溝改修事業は平成26年度で完了させる。 あけぼの団地の住宅改修事業は平成26年度より実施設計を施工しており、工事は平成27年度からの施工となる。 入居者の同意が非常に大きいため、早急な工事着工と工事計画の説明が必要である。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)		達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
平成26年度にあけぼの団地駐車場整備事業と西嶽団地・北出口団地通路側溝改修事業を完了させる。事業は計画のとおり施工している。 平成27年度よりあけぼの団地住宅改修事業を開始するため、実施設計を施行中であり、工事内容について検討している。							
外部評価（評価委員会の意見）		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見							
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている						
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他						

平成26年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H26年度 予算
4-6-1	室住宅の用途廃止(住宅解体整備)	都市計画課	平成15年度の公営住宅ストック総合活用計画において室西団地、室東団地は町営住宅の用途廃止としている。 当該住宅は昭和35年度から昭和40年度の木造建築であるため、かなり老朽化し住宅として適切に管理できなくなっている。そのため入居者に住宅の状況を説明して、転居するようお願いしている。	1,500
4-6-1	あけぼの団地駐車場整備	都市計画課	町営住宅駐車場取扱要綱に基づく駐車場を交通事故の防止のため整備する。 事業費は駐車場使用料及び駐車場整備交付金(国費)をあてる。	39,000
4-6-1	団地外構整備	都市計画課	西嶽団地・北出口団地・源場団地の側溝・通路を整備する。	115,200
4-6-1	建築物耐震改修促進	都市計画課	地震の際、住宅建築物の倒壊等による被害の軽減を図るため、耐震性の向上を目的とする。 公共建築物については、災害時の機能確保の観点から強力に耐震化する。 緊急輸送通路等の指定	1,000
4-6-1	あけぼの団地屋根・外壁等改修	都市計画課	あけぼの団地は昭和53年度から昭和59年度までに建設され、現在老朽化した外壁、屋根、電気、ガス、水道、生活排水、居室などの劣化により、住宅修繕費が年々嵩んでいる。また、住宅環境が悪くなり、入居者も生活に苦慮している。 公営住宅の管理面から早急な改修が必要である。	7,400
4-6-1	町営住宅消防施設改修	都市計画課	町営住宅火災の予防及び早期発見並びに初期消火のため、消防法の点検に基づき防火施設を改修整備する。	1,200

平成26年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 7 - 2	下水道の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	下水道課
施 策	4 - 7	上下水道の整備	担当者	小原 富雄

基本事業を取り巻く現況と課題

下水道の役割は、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全と、きれいな水環境を創り出すことにあり、安全かつ安心で快適な日常生活のために必要な施設です。近年、社会経済状況の変化と共に生活にゆとりや潤いを求める住民の意識が高まる中で、下水道はそれらの社会的要請に的確に対応していくため、より一層、計画的かつ効率的に推進することが課題となっています。また、下水道及び農業集落排水施設等、複数の污水处理施設を共同で利用する施設を整備することにより、効率的な污水处理施設整備を図る事業（MICS事業）に関する検討を行い、実施に向けた国土交通省との最終協議の段階です。

また、維持管理コストの縮減にむけた下水道副産物の有効利用を図るため、消化ガス発電の検討も併せて行います。

基本事業の目標

河川の水質浄化を図り快適で衛生的な生活環境を創り出す。

構成事務事業

- | | |
|-------|---|
| 事務事業名 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業 ・農業集落排水事業 |
|-------|---|

25年度決算額		26年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
585,031 千円	192,406 千円	734,862 千円	206,585 千円	198,500 千円	60,842 千円	268,935 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
		目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
成果指標①	下水道の整備率	目標値	単位:%				77.0	年次計画に基づき整備をしている。
		実績値	68.7	70.4	75.1	76.4	77.3	
		達成度	89.2%	91.4%	97.5%	99.2%	100.0%	
成果指標②	水洗化率	目標値	単位:%				95.0	未水洗家庭に対し、切替推進を実施し、水洗化は、徐々に進んでいる。
		実績値	88.5	93.4	77.5	85.0	90.0	
		達成度	93.16%	98.3%	81.6%	89.5%	94.7%	
成果指標③	下水道利用者の不満度	目標値	単位:%				0	
		実績値	5.9	10.7	15.8	6.6	5.2	
		達成度		89.3%	84.2%	93.4%	94.8%	
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
『目標達成状況に対する総合的所見』 整備率に関しては、平成27年度目標値を達成している。水洗化率においては、個別の推進等を実施し、徐々に目標値に近づいている。	『今後の課題と取り組み方針』 整備に関しては、農業集落排水整備を終えて、公共の認可面積をクリアできるよう、年次計画に基づき取り組んで行く。 水洗化に関しては、未接続、特に汲み取り方式の家庭に対して、推進に力を入れて行く。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
整備に関しては、今後も年次計画に基づき認可面積内での事業を推進するが、町では、新たな開発等が行なわれている。この現状も踏まえて計画を見直す必要性が生じた場合には、柔軟に対応を検討する。 水洗化に関しては、新築住宅では、下水道接続が実施されているが未接続の高齢者単身住宅がある。今後を見据えると厳しい側面もあるが、引き続き下水道接続をお願いして行く。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見【下水道課】
・効率的な汚水処理施設整備を図る事業に関する検討を行い実施に向けた最終協議ぜひ実行していただきたい。維持管理コストの削減に向けた下水道副産物有効利用消化ガス発電の検討を。 ・商店街の店舗で汲み取り式のトイレのお店が見受けられる。特に食品を扱う店舗では衛生面でやや問題があるのでは。 ・水洗化率が目標値より低いという事は、受益者負担金が所得に対して高額のため、我が家の水洗代までは金額が不十分で手が届かないのでは。

平成26年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H26年度 予算
4-7-2	公共下水道事業(維持管理費)	下水道課	下水処理場、汚水中継ポンプ場の適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。	152,086
4-7-2	農業集落排水事業(維持管理費)	下水道課	農業集落排水事業の処理施設の維持管理	30,814
4-7-2	公共下水道費繰出金(基準内、基準外)	下水道課	一般会計から公共下水道特別会計への繰出し金	368,856
4-7-2	公共下水道(総務管理費)	下水道課	公共下水道の事務を行うための事務費	91,534
4-7-2	公共下水道(元金、利子)	下水道課	公共下水道整備に伴う起債償還(定時償還)元金、利子	625,369
4-7-2	公共下水道(事業費・管渠)	下水道課	公共下水道事業により、各家庭の敷地まで下水道管の布設を行い、各家庭から排出される汚水の処理を行う。下水道管渠及び圧送管・ポンプ施設の増設・改築工事の中長期的計画を推進する。	281,098
4-7-2	杉水地区農業集落排水事業	下水道課	農業集落排水事業(農村下水道事業)による管路敷設および処理施設整備	2,541
4-7-2	農業集落排水費繰出金(基準内、基準外)	下水道課	一般会計から農業集落排水特別会計への繰出金	99,066
4-7-2	農業集落排水事業(総務管理費)	下水道課	農業集落排水事業の事務を行うための事務費	1,589
4-7-2	農業集落排水事業(元金、利子)	下水道課	農業集落排水事業に伴う起債償還(定時償還)元金、利子	95,525
4-7-2	公共下水道(事業費)	下水道課	下水道終末処理場、汚水中継ポンプ場等の増設・改築・長寿命化工事を実施する。また、ミックス事業の検討。	152,700
4-7-2	公共下水道事業(維持管理)	下水道課	マンホールポンプの適正な維持管理・保守点検を行い、公共用水式の水質保全に努める。	21,690